

令和 4 (2022)年度					年 間 授 業 計 画	
教科・科目			教科		数学Ⅱ	
			4		単位	
対象学年・組			2 年生(含む特進)		必履修	
教科書 (出版社)			高等学校 数学Ⅱ (数研出版)		・スタディーアップノート数学Ⅱ (数研出版) ・チャート式 解法と演習 数学	
学習目標			1. 基本的な概念や原理・法則の理解を深める。 2. 物事を数学的に考察し処理する技能・能力を高める。 3. 数学的な見方や考え方を積極的に活用する態度を養う。			
学期		予定 時数	単元	指導内容		具体的な指導目標
1	前半	24	第1章 式と証明	1. いろいろな式の計算 2. 等式・不等式の証明		・式の計算を体系的に理解し、正しく計算を行う能力を獲得する。 ・等式や不等式が成り立つことを証明できるようにする。
	後半	24	第2章 複素数と方程式 第3章 図形と方程式	1. 複素数と2次方程式の解 2. 高次方程式 1. 点と直線 2. 円 3. 軌跡と領域		・複素数を理解し、その計算を学ぶ。 ・2次方程式を解くことや解と係数の関係を学ぶ。 ・因数定理を利用して高次方程式を解くことができるようにする。 ・座標概念を理解する。 ・1次方程式のグラフが座標平面上の直線であることを理解する。
2	前半	28	第4章 三角関数	1. 三角関数 2. 加法定理		・角度を拡張し弧度法を理解する。 ・三角関数の性質を理解する。 ・三角関数を含む方程式を取り上げ、また加法定理を理解する。
	後半	28	第5章 指数関数 と対数関数	1. 指数関数 2. 対数関数		・指数の拡張とそれぞれについて指数法則が成立つことを理解する。 ・対数を理解し、対数の性質について学ぶ。
3		36	第6章 微分法と積分法	1. 微分係数と導関数 2. 関数の値の変化 3. 積分法		・平均変化率と導関数を理解する。 ・接線の傾きを学び、関数の増減を理解しグラフを描く。 ・不定積分および定積分について理解する。 ・定積分の面積への応用を学ぶ。
評価の観点 (評価基準)			・学習目標に対する到達度を評価する。・学習状態を評価する。			
評価の方法			定期考査・小テスト・課題・授業態度・出席状況など			
学習の手引き			・定義や概念を理解する。 ・定理・公式を理解し、その利用方法を整理する。 ・演習問題では、方針を立て、取り組む姿勢を身に付ける。			
授業担当者			塚原裕司、櫻井友之、江藤佳澄			